

札幌市豊平川さけ科学館研究報告

(2015 年度)

2016 年 3 月

公益財団法人 札幌市公園緑化協会

札幌市豊平川さけ科学館研究報告（2015 年度） 目次

北海道札幌市およびその近郊における淡水魚の分布

—2002～2015 年における採集記録—

前田有里.....1

北海道札幌市およびその近郊における淡水魚の分布 —2002～2015 年における採集記録—

前田有里

札幌市豊平川さけ科学館（以下、さけ科学館）では、飼育展示用の魚の確保と生息状況の調査をおもな目的として、札幌周辺において継続的に淡水魚の採集をおこない、その結果を記録している。それらの情報の一部はすでにさけ科学館館報で報告している（高山ほか, 1992,1995,2002）。

淡水魚は、種によっては容易に移植されたり、開発によって地域個体群が消失するなど、短期間のうちに人為的に分布が変わる事例がよくみられるが、地域の淡水魚類相を継続的にモニタリング調査し公開することは、これら人為的な影響を含めて地域の環境を知る手がかりとなり、環境保全に役立てることができる。また、地域や環境に関する学習・教育等において、地域の生物相の記録は、学習素材として必要な情報になり得る。

本報告は、高山ほか（2002）までの報告に引き続いて、さけ科学館が 2002 年以降に実施した採集の記録をまとめたもので、生物多様性の保全および教育普及のための基礎資料としての活用を期待してここにまとめる。

方法

はじめに

本調査は、様々な目的をもってさけ科学館が実施した採集の記録をまとめたものである。したがって魚類の水系内の分布や種の多様性を科学的に評価できるような、一貫した調査方法をとっていない。しかし、いずれの採集においても、生息する魚類を可能な限り多種にわたって記録するよう心掛けたため、水系の魚類相の記録としては意味をもつと考えられる。

調査地点

調査は石狩川水系（支流の豊平川水系と、豊平川水系以外に区分）、新川水系、星置川水系でおこなった。調査地点は、図 1、表 1 に示した 148 地点を設定した。各地点は、採集の都度、目的に応じて選択したものだが、特に飼育展示用の魚類を採集しやすい場所を意図的に選択する場合が多かった。具体的には、道路等からの距離が近く、多種多様の魚類の生息が期待される地点（ワンド的環境や、抽水植物の豊富な場所、堰堤直下等）を優先的に選択した。

調査方法

全体を通しての調査期間は2002年4月～2015年3月の間である。ただし、それぞれの採集地点における調査期間および採集した季節、採集頻度は一定していない。

採集用具は、タモ網と投網のいずれか、または両方を使用し、投網は目合12mm・60mmのものを適宜選択した。調査地点の魚類相をより網羅的に調べる必要がある場合のみ、電気ショッカー（スミスルート社製LR-20B、または同等品）を使用した。目的等により、採集努力量は毎回異なるが、通常、1回の採集につき1～3名の人間が10～30分間かけておこなう場合が多かった。

採集した個体は、その場で直ちに外部形態・斑紋・色彩等により同定し、個体数を記録した。その後、可能な限りその場に放流したが、その場で同定できない場合や、採集の目的（飼育展示等）により、必要な数のみ持ち帰った。一部の魚種については、70%エタノール溶液で固定して持ち帰り、標本の標準体長・形態等について測定・記録し、同定の参考にした。

同定および種名は基本的に「日本産魚類検索 全種の同定 第三版（中坊 編, 2013）」に従った（同定時期によっては第二版に依拠）。分類群や成長段階、あるいは採集時の状態によっては、種の同定が困難な場合があり、その場合は属あるいは上位の分類群までを記録した。これらの分類群の同定および表記の取り扱いについては、表2に示した。

結果

結果を示す前に、著者ほかによる既報（さけ科学館研究報告掲載）の記録と、今回の記録との整理については、次のとおりとした。

- ・アメリカザリガニ調査（前田ほか, 2012）の淡水魚の記録（2010～2011年）

今回の記録から除外

- ・新川および星置川汽水域調査（前田ほか, 2013）の淡水魚の記録（2006～2011年）

今回の記録から除外

- ・ビリンゴ類調査（前田, 2013）の記録（2006～2011年）

ビリンゴ類を抜粋して報告したが、採集した全魚種（ビリンゴ類を含む）を今回の記録に含める

さけ科学館では、これら淡水魚の調査とは別に、サケおよびサクラマス産卵状況調査を実施しているが、その調査で確認されたサケ科魚類（成魚）の記録については、別途報告するものとして今回の記録から除外した。

今回の調査で確認した魚種について、水系別に表3に示した。なお、国外移入種や国内移入種については、定着の有無を考慮に入れずに結果に含めた。また、比較のため、文献による既報の魚種を表3に併記した。

各水系・地点ごとに確認された魚種については、調査期間・調査回数と併せて表4～7に示した。また、各水系別の確認種数および初記録種について、以下に示した。

豊平川水系

今回の調査で計 36 種を確認した。これまでのさけ科学館による調査報告に加えて、新たにタモロコ *Gnathopogon elongatus elongatus*、ホンモロコ *Gnathopogon caerulescens*、グッピー *Poecilia reticulata*、アシシロハゼ *Acanthogobius lactipes* の 4 種が確認された。

石狩川水系（豊平川以外）

計 24 種を確認した。新たにニジマス *Oncorhynchus mykiss*、シマウキゴリ *Gymnogobius opperiens*、ビリンゴ *Gymnogobius breunigii* の 3 種が確認された。

新川水系

計 32 種を確認した。新たにタイリクバラタナゴ *Rhodeus ocellatus ocellatus*、エゾホトケドジョウ *Lefua costata nikkonis*、クロガレイ *Pleuronectes obscurus* の 3 種が確認された。

星置川水系

計 29 種を確認した。新たにスナヤツメ北方種 *Lethenteron* sp.N.、モツゴ *Pseudorasbora parva*、アユ *Plecoglossus altivelis*、アメマス *Salvelinus leucomaenis leucomaenis*、ニジマス *Oncorhynchus mykiss*、ムスジガジ *Ernogrammus hexagrammus* の 6 種が確認された。

考察

今回の調査は展示魚の確保をはじめ、様々な目的をもっておこなったものであるため、方法および同定に関して厳密なものとなっていない。そこで今回は、高山ほか（2002）の考察に引き続き、同定方法や人為分布の可能性に関してなど、分布状況が判然としない分類群について、個別に問題点を整理し報告すること、1 河川における近縁 2 種の優占状況の推移の事例から、今後の調査における課題を示すことをもって、考察としたい。

カワヤツメ属

札幌周辺では、カワヤツメ、シベリアヤツメ、スナヤツメ北方種の 3 種の分布が考えられる。成体の外部形態から確実に識別できる場合のみ、種として記した。今回、厚別川の St.59 では、筋節数を含む外部形態から、シベリアヤツメを疑う個体が採集されたが、種の同定には至らなかった。その結果、確認できた種はカワヤツメとスナヤツメ北方種に限られた。

札幌周辺におけるヤツメウナギ類の分布を明らかにするためには、遺伝的特徴の精査が必要である。

ワカサギ属

札幌周辺には、ワカサギとイシカリワカサギの2種が分布する。さけ科学館では、2002年3月までに採集し、同定した記録（高山ほか，2002）において、この2種の採集地点について報告している。また、前田ほか（2013）では、新川および星置川の汽水域における採集・同定個体がすべてワカサギであったことを報告している。

今回、豊平川水系の採集個体について同定した結果、西岡水源池とその上下流（St.42,43,44）については全個体がワカサギであった。一方、豊平川水系のその他の地点（St.41,51,52,62,73）の個体はすべてイシカリワカサギであった。

これまでの記録と今回の結果を合わせると、西岡水源池および上下流の月寒川と、新川および星置川汽水域でワカサギが確認され、それ以外の豊平川本流や下流部の水路、厚別川、モエレ沼樋門で確認されたイシカリワカサギとは、生息域の重複が認められなかった。今後、さらなる継続調査を行い、調査地域における2種の分布を確認する必要がある。

イトウ

さけ科学館による調査においては、1989年11月に、豊平川の3号床止下流（今回のSt.38付近）でイトウを1尾捕獲している（小宮山ほか，1992）。その記録に続く2例目として、今回の調査で2010年9月14日に豊平川の水穂大橋下流（St.38）でイトウ1尾（尾叉長500mm）を捕獲した。豊平川のイトウについて、石狩川水系の他河川にイトウが分布していること、豊平川上流のさっぽろ湖およびその流入河川での、放流によると思われる定着の情報があることから、今回の個体が石狩川水系の他河川から豊平川に入ってきたか、あるいは豊平川上流からの降下個体である可能性も否定できない。しかし、それ以前の確認例が少ないことと、豊平川では市民団体により前年の2009年からイトウ未成魚の放流が実施されており、今回の個体は放流個体の体長に近いことから、この放流に由来する可能性がより高いと考える。

また、2014年5月8日と12日に真駒内川の石山陸橋からさけ科学館横の区間（St.25）で、イトウの親魚3尾を目視により確認した。このうち雌雄1ペアについては産卵行動と産卵床1カ所を視認した。このことを受けて、真駒内川および下流の豊平川本流において、同年6～10月に6回の追跡調査を行ったが、イトウ稚魚は確認できなかった。

多数回産卵のイトウは、前年と同様の地点に遡上・産卵することが考えられるため、翌年の2015年にも、真駒内川の同区間（St.25）近辺で追跡調査を実施したが、イトウは親魚・稚魚ともに確認されなかった。この理由については不明であるが、2015年の状況として、前年9月の大雨によって真駒内川（さけ科学館横から約100m下流の地点）に大きな落差が生じたため、イトウ親魚が産卵場所まで遡上できなかった可能性が考えられる。

魚類の移植放流については、日本魚類学会が2005年3月に「生物多様性の保全を

めざした魚類の放流ガイドライン」を策定し、保全を目的として希少種を中心とする魚類の放流を行う際の指針を示している。また、札幌市は 2013 年 3 月に「生物多様性札幌ビジョン」を策定し、移植放流の際には遺伝的攪乱対策の必要性を明記している。こうした情勢を踏まえ、必要な対策を講じるためにも、今後、豊平川において放流個体を含むイトウが定着・繁殖し世代交代するのか、継続調査が必要と考える。

カジカ属

星置川でカジカ類の生息に変化が見られたため、報告する。さけ科学館では 1994 年に同河川で淡水魚の調査を開始し、以後毎年実施しているが、同河川のカジカ類について、当初はハナカジカ 1 種のみを確認していた。カンキョウカジカについては 1998 年に 1 個体を初確認（高山ほか，2002）した後、1999～2004 年まで確認できなかった。2005 年に 2 例目を確認してから確認数を増やし、2007 年には、同河川で採集したカジカ類は全てカンキョウカジカとなった。2008 年以降はハナカジカが少数確認できるものの、カンキョウカジカの確認数が優勢または大多数を占めるように変化した。このほか、2008 年には、汽水域でカンキョウカジカの稚魚を初確認している（前田ほか，2013）。

星置川は、河口から約 2,200m 上流にある取水施設（星置川分流堰）が魚類の遡上障害となっていたが、2009 年に改修され、魚道が整備された。工事後の 2009 年 9 月、取水施設上流（St.141）の調査では、カジカ類はハナカジカのみが確認された。2010 年には、その上流側の落差工 4 基にも魚道が整備され、魚類の遡上可能範囲が拡大した。

このカジカ類 2 種は、生活史も異なり、生息域の傾向に違いがあるが、星置川は流程の短い小河川であることもあり、同所分布の状況が存在し、さらに生息数の変化が生じている。魚道の整備により、海からの遡上可能な範囲が拡大することにより、これまでのハナカジカ生息域にカンキョウカジカが進出し、この範囲においても数の変化がみられるのか、あるいは棲み分けのような状況となるのか、継続的に確認していきたい。

謝辞

ここで報告した調査は、いずれも著者を含む当時所属の職員が担当したものであるが、採集の同行や情報の提供において、さけ科学館ボランティアや多くの関係者に多大なご協力とご指導・ご助言をいただいた。特に、データを整理する際にはさけ科学館ボランティアの相馬愛樹氏にご尽力いただいた。この場を借りて深い謝意を表します。

文献

- 小宮山英重・小原聡・斉藤充 1992. 豊平川で捕獲されたイトウ. 札幌市豊平川さけ科学館館報, 3・4:58-60
- 前田有里 2013. 北海道札幌市およびその近郊におけるビリンゴ(*Gymnogobius breunigii*)とジュズカケハゼ(*Gymnogobius castaneus*)の分布. 札幌市豊平川さけ科学館研究報告, 2012 年度:9-17
- 前田有里・佐藤信洋 2013. 北海道の新川汽水域および星置川汽水域における魚類と大型甲殻類の確認記録. 札幌市豊平川さけ科学館研究報告, 2012 年度:1-8
- 前田有里・吉田剛司 2012. 札幌市内の創成川本支流・安春川・屯田川・東屯田川におけるアメリカザリガニ *Procambarus clarkii* の生息域調査と下水処理水の影響. 札幌市豊平川さけ科学館研究報告, 2011 年度:1-21
- 中坊徹次 編 2013. 日本産魚類検索全種の同定第三版. 東海大学出版会, 東京.
- 高山肇・小原聡・岡本康寿・佐藤信洋 1995. 1989 年 6 月から 1995 年 2 月の間に新川水系で採集された魚類と大型甲殻類の記録. 札幌市豊平川さけ科学館館報, 7:32-43
- 高山肇・小原聡・岡本康寿・佐藤信洋・小宮山英重・堀本宏 1992. 1989 年から 1991 年の間に豊平川水系で採集された淡水魚の記録. 札幌市豊平川さけ科学館館報, 3・4:62-71
- 高山肇・岡本康寿・小原聡・佐藤信洋 2002. 北海道札幌市およびその近郊における淡水魚の分布—1992～2002 年における採集記録—. 札幌市豊平川さけ科学館館報, 14:31-46

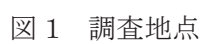


図 1 調査地点

表 1 調査地点

水系	本流	支流	St.	調査地点	本流	支流	St.	調査地点
豊平川		右入沢川	1	右入沢川	豊平川		36	7号床止～5号床止
	豊平川		2	最上流部の橋	豊平川		37	5号床止～3号床止
		小漁沢川	3	小漁沢川	豊平川		38	3号床止下
	豊平川		4	小漁沢川合流部	豊平川		39	1号床止～JR鉄橋
	豊平川	中山沢川	5	中山沢川	豊平川		40	JR鉄橋～環状北大橋
	豊平川		6	上流から2つ目の橋	豊平川		41	豊水大橋
	豊平川		7	豊平峡ダム上流		月寒川	42	西岡水源池上流
		無名川	8	駅通沢川分流			43	西岡公園水源池
		駅通沢川	9	駅通沢川		月寒川	44	西岡水源池下流・公園内
	豊平川		10	駅通沢川合流部	ラウネナイ川		45	ウラウチナイ川合流部
		漁入沢川	11	漁入沢川支流	月寒川		46	JR鉄橋
		漁入沢川	12	漁入沢川上流	望月寒川		47	西白石小横
		漁入沢川	13	漁入沢川	望月寒川		48	下水処理場横
		狭薄沢川	14	狭薄沢川	月寒川		49	望月寒川合流部
	豊平川		15	豊平峡ダム湖	旧豊平川		50	旧豊平川
	豊平川		16	定山溪小学校上流	豊平川		51	雁来新川合流部
	豊平川		17	砥山ダム湖	豊平川		52	右岸水路
	豊平川		18	藻岩ダム下	豊平川		53	雁来船着場
		オカバルシ川	19	石山通上流			54	角山下流水路
	豊平川		20	硬石山水管橋		厚別川	55	ふれあいの森上流
		穴の川	21	穴の川	厚別川		56	有明地内の湧水池
		石山川	22	石山川	厚別川		57	下三滝橋
		中の沢川	23	北の沢川～豊平川合流部	西真栄川		58	真栄みどり橋～真栄いこい橋
	豊平川		24	さけ科学館横	厚別川		59	清田橋～あしりべつ橋
		真駒内川	25	石山陸橋～さけ科学館横	清田川		60	厚別川合流点
		真駒内川	26	さけ科学館横	厚別川		61	開栄橋
	豊平川		27	南22条橋～7号床止	厚別川		62	JR鉄橋～三里川合流部
		精進川	28	上流部	三里川		63	平岡公園内の湿地
		精進川	29	二谷橋～駒岡1号橋	三里川		64	里塚緑が丘の湧水池
		精進川	30	駒岡4号橋	野津幌川		65	立花橋
		精進川	31	五輪通上流湿地	野津幌川		66	西公園横
		精進川	32	澄川橋	小野幌川		67	もみじ台緑地横
		精進川	33	澄川西小学校横	山本川		68	厚別高校横
		精進川	34	精進河畔公園	厚別川		69	豊平川合流部
		精進川	35	豊平川合流部	豊平川		70	豊平川左岸水路
					豊平川		71	石狩川合流部左岸
					—		72	モエレ沼雁来新川合流部
					—		73	モエレ沼樋門
					—		74	モエレ沼

水系	河川名	St.	調査地点	水系	河川名	St.	調査地点
石狩川	鴨々川	75	中島公園内の菖蒲池	新川	琴似発寒川	112	なかよし橋
	鴨々川	※76	鴨々川		琴似発寒川	113	かもめ橋
	創成川	※77	創成川公園横		琴似発寒川	114	JR堰堤
	創成川	78	北13条橋～北18条橋		琴似発寒川	115	寒月橋
	創成川	79	学田川～北5番橋		琴似発寒川	116	農試公園橋
	創成川	80	茨戸耕北橋		琴似発寒川	117	西陵リンリン橋
	—	81	百合が原公園内の池		琴似発寒川	118	琴似川合流部
	旧琴似川	82	上流部		新川	119	新川稲積橋
	安春川	83	新琴似4条7～10丁目		新川	120	新川パークゴルフ場横
	安春川	84	光陽小学校横		西野川	121	西野西公園横
	安春川	85	北4番橋		中の川	122	宮の沢1号橋
	屯田川	86	屯田西公園上流		中の川	123	西野屯田通～山の手通
	屯田川	87	屯田北公園7番橋		中の川	124	新中の川橋
	東屯田川	88	ジョイフルAK横～北5番橋		三樽別川	125	三樽別2号橋
	発寒川	89	東屯田川遊水池		三樽別川	126	稲積橋
	茨戸川	90	北岸4線流入部		追分川	127	トンギョ橋
	茨戸川	91	美登江		中の川	128	共栄橋
	茨戸川	92	生振2号樋門前ワンド		軽川	129	前田大橋
	石狩川	93	弁天町		軽川	130	稲山橋
	知津狩川	94	石狩川合流部		軽川	131	なかよし公園横
	聚富川	95	石狩川合流部		中の川	132	ゆたか橋
	旧知津狩川	96	河口域		新川	133	新川中央橋
	—	97	聚富村の沼①		新川	134	前田森林公園橋
	—	98	聚富村の沼②		新川	135	第一新川橋
新川	琴似川	99	新川上の橋		新川	136	濁川合流部
	琴似川	100	新川橋		濁川	137	銀杏橋
	琴似川	101	西陵橋		濁川	138	明日風公園橋
	琴似発寒川	102	平和湖		—	139	小樽内川・河跡湖
	盤溪川	103	市民の森内堰堤	星置川	星置川	141	堰堤5～1
	盤溪川	104	盤溪会館横		星置川	142	JR堰堤
	盤溪川	105	西盤溪川合流部		星置川	143	ほしみ橋～キライチ川合流部
	盤溪川	106	盤溪砂防ダム		山口運河	144	星置中学校横
	左股川	107	左股川・福井堰堤		星置川	145	宮下橋下流
	—	108	福井地内の湧水池		星置川	146	望洋橋
	左股川	109	やまばと公園下流		星置川	147	河口域
	左股川	110	築山橋		旧星置川流路	148	銭函3丁目踏切
	琴似発寒川	111	風の子橋				

※ST.76 および ST.77 は、上流側で豊平川より取水しているが、下流側は豊平川に接続していないため、石狩川水系に区分した。

表 2 本報告における種の同定および表記の取り扱い

分類群	同定および表記の取り扱い
カワヤツメ属	幼生については同定せず、すべてアンモニーテス幼生とした。成体のうち、外部形態の確認により確実に同定した場合のみ、種名を記した。その他はすべて <i>Lethenteron</i> spp. とした。
ワカサギ属	外部形態または内部形態の確認により確実に同定した場合のみ、種名を記した。星置川および新川河口域の個体について、前田(2013)の報告でワカサギ <i>Hypomesus nipponensis</i> とイシカリワカサギ <i>Hypomesus olidus</i> の同定を行い、すべてワカサギであることを確認している。そこから、本報告では同地点の個体はワカサギとした。その他はすべて <i>Hypomesus</i> spp. とした。
コイ科	稚魚は外部形態の確認による同定が難しく、属レベルの同定も難しい場合がある。同定できない小型の幼稚魚を <i>Cyprinidae</i> sp. とした。
ウグイ属	外部形態または内部形態の確認により確実に同定した場合のみ、種名を記した。その他はすべて <i>Tribolodon</i> spp. とした。
フナ属	フナ属は鰓耙数を含む詳細な調査をしていないため、本報告ではすべて <i>Carassius</i> spp. とした。
トミヨ属	外部形態の確認により確実に同定した場合のみ、種名を記した。稚魚は外部形態の確認による同定が難しく、同定できない小型の幼稚魚を <i>Pungitius</i> spp. とした。
タウエガジ科	稚魚は外部形態の確認による同定が難しく、属レベルの同定も難しい場合がある。同定できない小型の幼稚魚を <i>Stichaeidae</i> sp. とした。
コチ属	外部形態の確認による同定が難しく、同定できない個体を <i>Platycephalus</i> sp. とした。
ハゼ科	稚魚は外部形態の確認による同定が難しく、属レベルの同定も難しい場合がある。同定できない小型の幼稚魚を <i>Gobiidae</i> sp. とした。
ウキゴリ属	外部形態の確認により確実に同定した場合のみ、種名を記した。稚魚は外部形態の確認による同定が難しく、同定できない小型の幼稚魚を <i>Gymnogobius</i> spp. とした。
ビリンゴ類	調査域にはビリンゴ <i>Gymnogobius breunigii</i> とジュズカケハゼ <i>Gymnogobius castaneus</i> の2種が分布する。前田(2013)の報告で札幌周辺の分布域調査・同定を行い、2種の棲み分けに一定の確認を済ませている。そこから、本報告では札幌周辺の汽水域の個体はビリンゴ、淡水域の個体をジュズカケハゼとした。
マハゼ属	調査域にはアシシロハゼ <i>Acanthogobius lactipes</i> とマハゼ <i>Acanthogobius flavimanus</i> の2種が分布する。外部形態、斑紋に基づいて2種を区別したが、小型の幼魚についてはアシシロハゼ特有の体側の横縞模様が出ないため、2種の違いが明確でない。そのため、同定できない小型の幼魚を <i>Acanthogobius</i> spp. とした。

表 3 確認された魚種の一覧

○, ●: 種・亜種まで同定																
確認魚種	豊平川					石狩川			新川				星置川			
	本 報 告	高 山 ほ か	高 山 ほ か	小 宮 山	井 上	本 報 告	前 田 ほ か	高 山 ほ か	本 報 告	前 田 ほ か * 1	高 山 ほ か	高 山 ほ か	小 宮 山	本 報 告	前 田 ほ か * 1	高 山 ほ か
	2002	1992	1988	1978		2012	2002		2013	2002	1995	1988		2013	2002	
カワヤツメ	●	○	○	○	○						○		○			
<i>Lethenteron japonicum</i>																
スナヤツメ北方種	●		○	○	○		○		●			○		●		
<i>Lethenteron</i> sp.N.																
シベリアヤツメ				○												
<i>Lethenteron kessleri</i>																
カタクチイワシ														●	○	
<i>Engraulis japonica</i>																
コイ	●	○	○	○		●		○	●		○	○	○			
<i>Cyprinus carpio</i>																
タイリクバラタナゴ	●	○	○	○		●	○	○	●							
<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>																
ヤチウグイ	●	○	○		○		○				○					
<i>Phoxinus perenurus sachalinensis</i>																
ジュウサンウグイ(旧マルタ)	●	○		○	○											
<i>Tribolodon brandtii brandtii</i>																
エゾウグイ	●	○		○	○	●	○		●	○	○	○	○	●	○	
<i>Tribolodon sachalinensis</i>																
ウグイ	●	○		○	○	●	○		●	○	○	○	○	●	○	○
<i>Tribolodon hakonensis</i>																
モツゴ	●	○	○	○	○	●	○	○	●		○			●		
<i>Pseudorasbora parva</i>																
タモロコ	●															
<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>																
ホンモロコ	●															
<i>Gnathopogon caerulescens</i>																
ドジョウ	●	○	○	○	○	●	○	○	●		○		○	●		○
<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>																
フクドジョウ	●	○	○	○	○	●	○		●		○	○	○	●		○
<i>Noemacheilus barbatulus toni</i>																
エゾホトケドジョウ	●	○	○	○		●	○	○	●							○
<i>Lefua costata nikkonis</i>																
ナマズ				○		●		○								
<i>Silurus asotus</i>																
ワカサギ	●		○	○	○				●	○	○	○	○	●	○	
<i>Hypomesus nipponensis</i>																
イシカリワカサギ	●	○						○								
<i>Hypomesus olidus</i>																
アユ	●	○		○	○				●		○	○	○	●		
<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>																
イトウ	●		○													
<i>Parahucho perryi</i>																
オシヨロコマ	●	○		○	○											
<i>Salvelinus malma krascheninnikovi</i>																
ミヤベイワナ		○														
<i>Salvelinus malma miyabei</i>																
アメマス	●	○	○	○	○				●		○	○		●		
<i>Salvelinus leucomaenis leucomaenis</i>																
ブラウントラウト	●	○														
<i>Salmo trutta</i>																
ニジマス	●	○		○	○	●			●		○	○	○	●		
<i>Oncorhynchus mykiss</i>																
サケ	●	○	○	○		●		○	●		○	○	○	●	○	○
<i>Oncorhynchus keta</i>																
サクラマス	●	○	○	○	○	●	○		●	○	○	○	○	●	○	○
<i>Oncorhynchus masou masou</i>																
サツキマス				○												
<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i>																
ベニザケ				○	○											
<i>Oncorhynchus nerka</i>																

(次ページに続く)

*1: 北海道の新川汽水域および星置川汽水域における魚類と大型甲殻類の確認記録。

表 3 (続き) 確認された魚種の一覧

○, ●: 種・亜種まで同定

	豊平川					石狩川			新川				星置川			
確認魚種	本 報 告	高 山 ほ か	高 山 ほ か	小 宮 山	井 上	本 報 告	前 田 ほ か	高 山 ほ か	本 報 告	前 田 ほ か ＊ 1	高 山 ほ か	高 山 ほ か	小 宮 山	本 報 告	前 田 ほ か ＊ 1	高 山 ほ か
	2002	1992	1988	1978		2012	2002		2013	2002	1995	1988		2013	2002	
カラフトマス		○	○	○							○	○				
<i>Oncorhynchus gorbuscha</i>																
ニホシイトヨ	●	○	○	○		●		○	●		○	○	○	●	○	○
<i>Gasterosteus nipponicus</i>																
エノトミヨ	●	○	○	○	○	●	○	○	●		○					
<i>Pungitius tymensis</i>																
トミヨ属淡水型	●	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○
<i>Pungitius</i> sp.1																
ヨウジウオ															○	
<i>Syngnathus schlegeli</i>																
メナダ				○				○	●	○	○	○	○	●	○	○
<i>Chelon haematocheilus</i>																
グッピー	●															
<i>Poecilia reticulata</i>																
ヒメダカ							○									
-																
クロソイ														●	○	
<i>Sebastes schlegelii</i>																
カンキョウカジカ														●	○	○
<i>Cottus hangiongensis</i>																
ハナカジカ	●	○	○	○	○	●	○		●		○	○	○	●		○
<i>Cottus nozawae</i>																
ムスジガジ														●		
<i>Ernogrammus hexagrammus</i>																
クロダハゼ類(旧トウヨシノボリ)	●	○	○	○		●	○	○	●		○			●	○	○
-																
ウキゴリ	●	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○
<i>Gymnogobius urotaenia</i>																
シマウキゴリ	●	○				●			●		○	○		●		○
<i>Gymnogobius opperiens</i>																
ビリンゴ					○	●			●	○			○	●	○	
<i>Gymnogobius breunigii</i>																
ジュズカケハゼ	●		○	○		●	○		●			○	○			
<i>Gymnogobius castaneus</i>																
ヌマチチブ	●	○	○	○		●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○
<i>Tridentiger brevispinis</i>																
アカオビシマハゼ														●		
<i>Tridentiger trigonocephalus</i>																
アシシロハゼ	●					●		○	●	○	○	○	○	●	○	○
<i>Acanthogobius lactipes</i>																
マハゼ									●	○	○			●	○	
<i>Acanthogobius flavimanus</i>																
ミミズハゼ										○						○
<i>Luciogobius guttatus</i>																
ヒモギンボ															○	
<i>Pholis fasciata</i>																
カムルチー						●	○	○								
<i>Channa argus</i>																
ヒラメ									●	○		○	○			
<i>Paralichthys olivaceus</i>																
ヌマガレイ	●	○	○	○	○				●	○	○	○	○	●	○	○
<i>Platichthys stellatus</i>																
イシガレイ									●			○				
<i>Kareius bicoloratus</i>																
クロガジラガレイ															○	
<i>Pleuronectes schrenki</i>																
クロガレイ									●							
<i>Pleuronectes obscurus</i>																
確認種数	36					24			32					29		

(次ページに続く)

表 3 (続き) 確認された魚種の一覧

△, ▲: 属あるいは上位分類群までの記録

確認魚種	豊平川					石狩川			新川				星置川			
	本 報 告	高 山 ほ か	高 山 ほ か	小 宮 山	井 上	本 報 告	前 田 ほ か	高 山 ほ か	本 報 告	前 田 ほ か * 1	高 山 ほ か	高 山 ほ か	小 宮 山	本 報 告	前 田 ほ か * 1	高 山 ほ か
	2002	1992	1988	1978		2012	2002		2013	2002	1995	1988		2013	2002	
カワヤツメ属 <i>Lethenteron</i> spp.	▲	△				▲	△		▲		△			▲		△
ウナギ属 <i>Anguilla</i> sp.							△									
ワカサギ属 <i>Hypomesus</i> spp.	▲		△			▲								▲		△
コイ科 <i>Cyprinidae</i> sp.	▲					▲	△							▲		
フナ属 <i>Carassius</i> spp.	▲	△	△	△	△	▲	△	△	▲		△	△	△	▲		△
ウグイ属 <i>Tribolodon</i> spp.	▲		△			▲	△		▲	△				▲	△	
トミヨ属 <i>Pungitius</i> spp.	▲								▲							
タウエガジ科 <i>Stichaeidae</i> sp.									▲							
コチ属 <i>Platycephalus</i> sp.									▲			△				
ハゼ科 <i>Gobiidae</i> sp.	▲					▲			▲	△				▲	△	
ウキゴリ属 <i>Gymnogobius</i> spp.	▲								▲					▲	△	
ピリンゴ類 <i>Gymnogobius breunigii</i> / <i>Gymnogobius castaneus</i>		△					△				△					△
マハゼ属 <i>Acanthogobius</i> spp.	▲								▲	△				▲	△	
ツノガレイ属 <i>Pleuronectes</i> spp.											△					

表 4 豊平川水系 (St.1~St.74) の魚類確認記録

[illegible]

表 4 (続き)

	St.	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
調査期間	調査回数	2002/5- 2006/8	2011/8- 2014/8	2005/7- 2005/10	2007/5- 2014/8	2002/5 2002/5	2002/5- 2009/7	2002/5- 2012/6	2009/9- 2014/7	2002/5- 2015/3	2002/6- 2006/6	2002/4- 2013/7	2004/4- 2013/5	2007/5- 2012/7	2004/4- 2013/6	2005/10- 2013/11
カワヤツメ	6			2	5	1	6	8	5	15	17	3	11	3	12	6
スナヤツメ北方種										+	+		+			
コイ										+						
タイリクバラタナゴ													+			
ヤチウグイ										+						
ジュウサンウグイ(旧マルダ)								+		+			+			
エンウグイ	+						+	+		+			+	+		
ウグイ							+	+				+	+	+		+
モツゴ																
タモロコ																
ボノモロコ																
ドジョウ																
フケドジョウ				+	+		+	+	+	+	+		+		+	+
エゾホトケドジョウ	+												+		+	
ワカサギ													+	+	+	
イシカリワカサギ												+				
アユ																
イトウ									+							
オショロコマ																
アメマス																
ブラウントラウト																
ニジマス	+						+			+	+					
サケ(稚魚)								+	+				+			
サクラマス	+				+		+		+	+	+					
ニホンイトヨ																
エゾイトヨ	+								+	+		+	+	+	+	+
トミヨ属淡水型	+				+											
グッピー							+	+	+	+			+		+	
ハナカジカ																
クロダハゼ類(旧トウヨシノボリ)									+	+	+		+	+	+	
ウキゴリ									+	+	+	+	+	+	+	
シマウキゴリ									+	+	+					
ジュズカケハゼ									+	+	+	+				
ヌマチチブ										+						
アシシロハゼ										+						
ヌマガレイ											+					
カワヤツメ属																
アンモニーテース幼生										+			+			
ワカサギ属																
コイ科(稚魚)																
フナ属									+		+					+
ウグイ属					+			+	+	+	+	+	+	+	+	+
トミヨ属(稚魚)																
ハゼ科(稚魚)	+						+									
ウキゴリ属(稚魚)																
ハナゼ属																

表 4 (続き) 豊平川水系 (St.1~St.74) の魚類確認記録

[illegible]

表 5 豊平川を除く石狩川水系 (St.75~St.98) の魚類確認記録

St.	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
調査期間	2014/5	2008/5- 2008/9	2011/8	2008/5- 2008/9	2010/6- 2012/6	2012/6	2014/5	2006/10	2006/10	2009/7- 2014/10	2010/6- 2012/6	2009/7- 2014/8	2010/6- 2013/8	2010/6- 2014/8	2002/8- 2010/4	2006/9- 2007/7
調査回数	1	4	1	2	2	1	1	1	1	13	3	9	1	6	11	2
コイ		+			+						+				+	+
タイリクバラタナゴ			+							+	+				+	+
エンブダイ		+		+												
ウグイ			+	+						+						
モツゴ		+	+	+			+			+	+			+		+
ドジョウ										+	+	+				
フクドジョウ		+	+	+						+						
エゾホトケドジョウ							+					+		+		
ナマズ															+	
ニジマス				+												
サケ(稚魚)				+												
サクラマス		+		+												
ニホニイトヨ	+	+								+					+	
エゾトミヨ												+		+		
トミヨ属淡水型		+		+			+	+		+		+	+			
ハナカサガ		+														
クロダハゼ類(旧トウヨシノボリ)	+	+	+	+					+	+	+	+			+	+
ウキゴリ	+	+		+	+											
シマウキゴリ																
ヒリンゴ																
ジュズカケハゼ				+							+			+	+	+
ヌマチチブ		+				+					+				+	+
アジシロハゼ																
カムルチー															+	+
カワヤツメ属		+		+												
ワカサギ属															+	
コイ科(稚魚)											+				+	+
フナ属				+	+					+	+			+	+	+
ウグイ属		+	+	+						+			+			
ハゼ科(稚魚)										+						+

表 5 (続き) 豊平川を除く石狩川水系 (St.75~St.98) の魚類確認記録

St.	91	92	93	94	95	96	97	98
調査期間	2003/5- 2014/7	2007/7	2004/7	2007/6	2007/6	2007/6- 2007/7	2007/6	2007/6
調査回数	3	1	1	1	1	2	1	1
コイ		+						
タイリクバラタナゴ		+						
エンブウグイ								
ウグイ						+		
モツゴ	+	+						
ドジョウ								
フクドジョウ				+				
エゾイトケドジョウ				+				
ナマズ								
ニジマス								
サケ(稚魚)								
サクラマス								
ニホシイトヨ				+		+		
エゾトミ								
トミヨ属淡水型				+				
ハナカシガ								
クロダハゼ類(旧トウヨシノボリ)								
ウキゴリ	+			+	+	+		
シマウキゴリ	+			+		+		
ヒリンゴ								
ジュズカケハゼ	+							
ヌマチチブ	+				+	+		
アシシロハゼ			+		+	+		
カムルチー								
カワヤツメ属								
ワカサギ属	+							
コイ科(稚魚)	+						+	
フナ属	+							+
ウグイ属	+	+	+					
ハゼ科(稚魚)								

表 6 (続き)

[illegible]

表 6 (続き) 新川水系 (St.99~St.140) の魚類確認記録

[illegible]

表 7 星置川水系 (St.141~St.148) の魚類確認記録

St.	141	142	143	144	145	146	147	148
調査期間	2009/9	2006/2- 2009/9	2002/7- 2014/8	2011/7- 2014/7	2007/6	2002/6- 2002/7	2003/7- 2012/8	2014/8
調査回数	5	8	40	4	1	2	11	1
スナヤツメ北方種		+	+					
カタクチオイロシ			+				+	
エンバグダイ			+					
ウグイ			+	+		+	+	+
モツゴ								
ドジョウ			+	+				
フクドジョウ		+	+					+
ワカサギ	+					+		
アユ		+						
アメマス		+						
ニジマス		+	+					
サケ(稚魚)		+	+				+	
サクラマス	+	+	+					
ニホンイトヨ				+	+		+	
トヨ属淡水型			+	+				
メナダ						+	+	
クロソイ							+	
カンキョウカジカ		+	+					
ハナカジカ	+	+	+					
ムスジガジ							+	
クロダハゼ類(旧トウヨシノボリ)		+	+				+	
ウキゴリ		+	+	+	+	+	+	
シマウキゴリ	+	+	+					
ベリンゴ							+	
スマチチブ		+	+		+		+	
アカオビシマハゼ							+	
アシシロハゼ						+	+	
マハゼ						+	+	
スマガレイ						+	+	
カワヤツメ属		+	+					
アンモニーデス幼生		+	+					
ワカサギ属							+	
コイ科(稚魚)				+				
フナ属				+				
ウグイ属	+	+	+			+	+	
ハゼ科(稚魚)			+				+	+
ウキゴリ属(稚魚)		+	+				+	
マハゼ属			+				+	

札幌市豊平川さけ科学館研究報告（2015 年度）

2016 年 3 月発行

編集 札幌市豊平川さけ科学館

〒005-0017 札幌市南区真駒内公園 2 番 1 号

電話 011-582-7555

ファクシミリ 011-582-1998

電子メール sake@sapporo-park.or.jp

発行 公益財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北 1 条東 1 丁目 6 番地 16

ニューワンビル 4F

印刷 株式会社千修アイテム

ANNUAL RESEARCH
OF THE
SAPPORO SALMON MUSEUM

MARCH, 2016

SAPPORO PARKS AND GREENERY ASSOCIATION